

献体遺体使用の臨床医学研究

課題名：膝周囲骨切り術における膝蓋大腿関節への力学的変化の解明

研究責任者：東北大学 整形外科学分野 教授 相澤 俊峰

1. 研究目的

変形性膝関節症は、関節軟骨の変性により関節痛や可動域制限、変形などが生じ、生活や運動の障害となる疾患です。根本的な治療法はなく、保存療法で改善がない場合は人工関節手術が選択されることが多いですが、近年は、関節を温存して治療する膝周囲骨切り術が普及しています。人工関節に比べ、運動制限がないことや関節への侵襲が少ないことなど非常に多くの利点がありますが、術後に関節にかかる負担について詳細はまだ明らかにされていません。

2. 研究内容

この研究では、骨切り術を行うことによって膝関節およびその他の下肢関節、軟部組織にどのような変化がおきるかを観察します。骨切り術後の変化を詳細に把握できれば、手術による痛みの軽減や活動性の改善により多く貢献できると考えられます。